

本時のねらい

減法逆の問題づくりを通して、場面をテープ図や式に表現し、問題を解決する力を伸ばす。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

問題文とテープ図を対応させるためにどの言葉を入れたいか、考える際にオクリンクを活用することで、より簡単に試行することをねらいとしている。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・テレビ
- ・ミライシード（オクリンク）

本時の展開

| 学習の流れ | 主な学習活動と内容 | ICT活用のポイント・工夫 |
|--------------|--|---|
| 導入 (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ○百玉そろばんで数の概念を確認する。 ○図には「書き足す」、「2つに分ける」の二つの種類があることを確認する。 ○今日学習する問題文を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時までにオクリンクで使用した図のカードを提示し、これまでの学習をふりかえりやすくしている。 |
| 展開 (25分) | <ul style="list-style-type: none"> ○めあての確認 「どんなことばが入るかな？」 ○カードに描かれている図に言葉を当てはめ、問題を解く。 ○交流をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・この活動で使用するカードをオクリンクで提示し、教員が見本として実際に操作してみせることで、児童は何をするのかを理解しやすくなる。 ・言葉や図をオクリンクで操作すると、簡単に言葉を図に当てはめたり修正したりすることができ、試行錯誤しやすい。 ・ペアで交流した後の全体交流の際に、テレビに児童の画面を映し出すことで、簡単に共有ができる。 |
| まとめ (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ○活用問題に取り組む。 ○学習のふりかえりをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・カードは自動的に保存されるので、次回の復習の際にすぐに見ることができる。 |

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：説明をした図をそのままオクリンクを使ってカードとして送っている場面。



写真2：教科書の問題文に沿って図に言葉を入れ、立式している場面。



写真3：できたものをペアで交流している場面。

児童生徒の反応や変容

- ・初めは図を作り上げることに戸惑っていた児童も、次第に操作に慣れ、言葉や図形の挿入ができていた。
- ・ノートに比べて図の作成が簡単であるため、図を作成する時間が短く、多くの問題に取り組むことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・オクリンクを使うと、色分けしたテープ図で考えることができるので分かりやすい。
- ・まちがえても、何度もやり直せるので、不安な児童も安心して取り組めることに加え、短時間で問題を解くことができるので、反復練習に適している。